

交 流 通 信

このコーナーでは、国内外に3つずつある田原市の姉妹・友好都市の情報をお届けします。

企画課 ☎ 2 3 局 3 5 0 7

設楽町体験ツアー

～設楽町で“山”を体験！～

姉妹都市・設楽町をもっと身近に感じよう！と「設楽町体験ツアー」を6月24日・25日に開催し、田原市から参加した30名の皆さんが、「山」ならではのメニューを体験してきました。

ツアー初日、まずは設楽そば道場で、そば打ち体験。こねて、のばして... 1時間ほどの作業で出来上がったそばをその場で調理し、おいしくいただきました。さて、おなが一杯になったら今度は運動です。グリーンパークに場所を移し、パターゴルフや散策で汗を流しました。そして、夜はグリーンメッセージ()でのんびり。設楽の自然に囲まれながら、一晩を過ごしました。

グリーンメッセージ... 田原市が建設した宿泊施設で、設楽町との交流拠点になっています。設楽巡りに伴う宿泊は、ぜひお値打ちなグリーンメッセージで！



一夜明け、2日目のメニューは「シタケ栽培体験」と「鳥の巣箱作り」です。約2年後の収穫を目標にシタケの菌を打ったり、各自思い思いの絵を描いた手製の巣箱(間伐材を利用)を森に設置したりと、存分に「設楽の山」を満喫しました。また、その後に行われた地元森林組合との交流会では、設楽名物・五平餅が振る舞われ、「設楽の味」も体験することができました。

このほか、ツアーの途中には、設楽ダム建設に伴う水没予定地をバスから見学し、水の恩恵を受ける下流域の住民として、上流域に理解を示さなければならぬことを知った皆さん。山を楽しんだだけでなく、学ぶこともできた2日間となりました。

第16回 共に考え共に歩もう

男女共同 参画社会へ

企画課 23局3507

～シリーズ～
自分に合った仕事、選べますか？

前回からシリーズでお届けしています。自分に合った仕事、選べますか？。2回目となる今回は、土木技師・保木井亜紀子さんを紹介します。

Q 土木技師の仕事の内容は？

道路や橋、堤防工事などの設計をしています。

Q 土木技師になろうと思ったのはなぜですか？

中学生のとき、測量をしているおじさんを見て、「かっこいい！」と思いました。それをきっかけに工業高校の土木課に進学しました。

Q 技師といえば男性に多いイメージがありますが、実際に働いてみてどうですか？

男性にしかできない仕事はありま

せん。現場でも差別されず働くことができている。しかし、営業に来る業者さんの中には、応対に出たわたしを見て、「男の人をお願いします。」とばかりにする人もいます。そんな業者からは商品は買いません！(笑)

Q この仕事のやりがい？

自分が考えたものが形になって残ることです。自分が設計した橋が架かっているのを見ると、この仕事をしていたよかったです。

Q 最後に一言。

土木技師に限らず、いろいろな職業にいろいあることですが、男女の偏りがあったとしても、興味を持ったら迷わずに進んでほしいですね。ありがとうございます。これから市民が快適に暮らせるよう、がんばって設計を続けてください。



保木井亜紀子さん / 平成5年に田原町(現田原市)の技師として採用され、現在は土木課建設係で活躍中です。